

報道関係各位

2021年12月2日
アキュレイ株式会社

アキュレイのロボット放射線治療装置サイバーナイフによる 頭蓋内・脊椎脊髄疾患に対する効果的な放射線治療実績の論文発表

Accuray Incorporated (NASDAQ: ARAY) は、20年以上にわたるグローバル臨床データにより、サイバーナイフの頭蓋内・脊椎脊髄疾患に対する治療をサポートする論文が発表されたことをお知らせいたします。この論文はスタンフォード大学医学部で治療された頭蓋内または脊椎脊髄疾患 7,000 人分の分析結果で、[Journal of Neurosurgery](#) オンラインジャーナルに掲載されました。サイバーナイフによる非侵襲的治療方法は、広範囲の頭蓋内・脊椎脊髄疾患に対して優れた治療結果をもたらし、放射線による手術的照射の利点を高め、使用実績が増えているという発表です。



画像：サイバーナイフ S7 シリーズ

サイバーナイフによる放射線治療：様々な患者さんのための定位放射線照射装置

サイバーナイフは、スタンフォード大学を拠点とする脳神経外科医 John R. Adler 医師によって 1994 年に開発されました。今では、サイバーナイフの定位放射線照射は、脳や脊椎の転移性病変から良性および悪性の原発性病変、薬物療法による疼痛管理が困難な三叉神経痛（2021年10月承認取得、2021年11月時点では保険未収載）、動静脈奇形などの血管障害まで、幅広い疾患の治療に日常的に使用されています。今後、頭蓋内・脊椎脊髄疾患の治療が進化していくにつれて、サイバーナイフの利点を活かした定位放射線照射がますます重要になっていくと期待されています。この装置はサブミリメートルの照射精度で定位放射線照射を実施し、1、2週間でわずか1～5回の照射日数で治療が完結するなど、より短期間での治療が可能です。これにより患者さんの QOL 改善が見込まれ、また医療チームにとっても治療効果と効率を高める選択肢になり得ます。



Accuray Incorporated のチーフメディカル&テクノロジーオフィサー Jean-Philippe Pignol は次のように述べています。「サイバーナイフシステムによる最初の脳腫瘍治療から 25 年以上経った今でも、世界中のサイバーナイフユーザーは、その独自のアーキテクチャを活用し、放射線外科の限界を押し上げながら、患者さんのために新しい方法を模索し続けています。今回の *Journal of Neurosurgery* の論文によると、サイバーナイフは一次治療から補助療法、緩和治療まで、治療過程のさまざまな段階で幅広い頭蓋内・脊椎脊髄疾患の治療に有用であり、日常診療での使用も促進されています。」

販売名：サイバーナイフ ラジオサージェリーシステム（医療機器承認番号：22200BZX00721000）

販売名：サイバーナイフ M6 シリーズ（医療機器承認番号：22600BZX00126000）

販売名：Accuray Precision 治療計画システム（医療機器承認番号：22900BZX00031000）

アキュレイについて

Accuray Incorporated (NASDAQ: ARAY) は、放射線治療装置の製造販売を通し、患者さんがより早く日常生活に戻るよう、より最適で安全な治療ソリューションを追求する会社です。

アキュレイ株式会社は、Accuray Incorporated の日本法人です。詳しい情報は <https://www accuray co jp/> をご参照ください。

本件に関するお問い合わせ先

アキュレイ株式会社 マーケティング 森 徹明 / 西村 知佳子

TEL : 03-6265-1544 FAX : 03-3272-6166

tmori@accuray.com / cnishimura@accuray.com